

みずほCustomer Desk Report 2016/10/24号(As of 2016/10/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	104.13	1.0930	113.80	0.9933	1.2258	0.7633
SYD-NY High	104.20	1.0930	113.86	0.9962	1.2261	0.7651
SYD-NY Low	103.52	1.0859	112.62	0.9927	1.2171	0.7587
NY 5:00 PM	103.85	1.0885	113.02	0.9933	1.2232	0.7610
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		9.17/9.52	Δ25RR	1.458	Yen Call Over	

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.2500	-0.0520	0.8234	1.2428	1.7347	0.0060	1.0870	2.2870
	1.5bp	1.3bp	0.4bp	▲1.0bp	▲2.1bp	0.3bp	1.0bp	0.1bp

	USD/CNH	ドルインデックス	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
為替市況	6.7704	98.70	189.395	1,267.700	50.850	48.02
商品市況	0.0225	0.38	0.62	0.20	0.22	▲0.33

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月21日	15:35	日 黒田日銀総裁 全国信用組合大会挨拶	-	-
	17:00	欧 ECB専門家予測調査	-	-
	21:00	欧 トゥスクEU大統領・メイ英首相 会談	-	-
	21:30	加 小売売上高(前月比)	8月 -0.1%	0.3%
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/1.3%	0.2%/1.4%
	21:30	加 GPIコア(前月比/前年比)	9月 0.2%/1.8%	0.2%/1.8%
	23:00	欧 消費者信頼感・速報値	-	-
	23:15	米 タルーFRB理事 講演	10月 -8.0	-8.0
10月22日	3:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

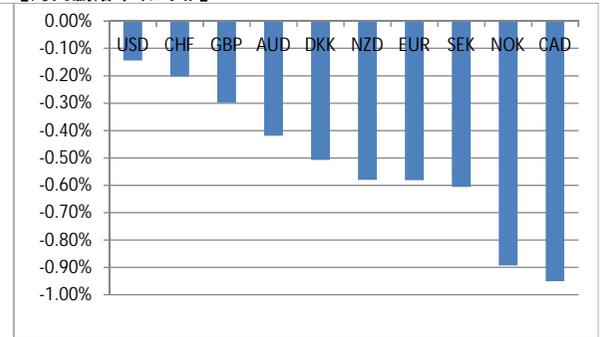
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月24日	8:50	日 貿易収支	9月 ¥366.1B	-¥19.2B
	9:30	日 日経製造業PMI・速報値	10月 -	50.4
	16:30	独 マークイット製造業PMI・速報値	10月 54.4	54.3
	17:00	欧 マークイット製造業PMI・速報値	10月 52.7	52.6
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	9月 -0.13	-0.55
	22:00	米 ダドリー・NY連銀総裁 講演	-	-
	22:05	米 ブラド・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報値	10月 51.5	51.5
10月25日	2:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	3:00	米 パウエルFRB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.20-104.20	1.0860-1.0960	112.30-113.80

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外市場でのドル/円は揉み合う展開。104円台前半で推移していたドル/円は、欧州時間に入り週末を前にした利益確定売り圧力に押される格好で103円台半ばまで下落。北米時間に入ると、前日のドラギECB総裁の緩和姿勢継続を意識させる発言を受けたユーロ売りドル買いや、ウィリアムズ・SF連銀総裁が比較的早期の利上げが妥当と述べるなど、連日のFED高官によるタカ派発言に米年内利上げ観測が濃る中、ドルインデックスは2月初旬以来の高値をつけるなど、全体的にドル買い優勢地合い。ドル/円も一時104円台を回復したものの、伸び悩み米国株を横目に上値は重く結局103円台後半で越えした。本日のドル/円はレンジ推移になると予想する。市場参加者の注目は来週に控える日銀政策決定会合と米FOMC、更にはその翌週の米大統領選などに集まっており、今週は様子見姿勢が続く可能性が考え得るところ。本日はダドリー・NY連銀総裁やパウエルFRB理事ら複数のFED高官による講演が予定されている。足許で米年内利上げ織込みは7割程度と既に相応にマーケットに織り込まれている印象から、ドル/円の上値余地は限定的。ただし、トランプ・リスクの後退など、リスクセンチメントも比較的落ち着いており、下値も堅いことからドル/円は方向感無く揉み合いが続きそうだ。

東京	東京時間のドル円は104.13レベルでオープン。麻生財務大臣が「輸入物価が上がった。円が安ければよいわけではない。」と発言したほか、黒田日銀総裁が「16年度の物価に一定の下方修正の可能性はある。」と発言したものの、いずれも相場への影響は限定的。その後、正午前後に高値104.20をつける場面もあったが、一段の上昇とはならず104円台前半で推移。午後に入って白井前日銀審議委員が「これ以上ETFの買入れを拡大するのはよほどのことがないと困難」との認識を示したと報じられると、ドル円は104.00を割り込んで下落。前日比プラス圏で推移していた日経平均株価もマイナス圏に沈む中、ドル円は東京時間安値103.75をつけ、103.85レベルで海外に渡った。(東京時間15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は103.85レベルでオープン。新規材料に欠く中103円台後半で動意薄となり、103円台後半で推移し、103.72レベルにてニューヨークへ渡った。ポンドは1.2250レベルでオープン。昨日から開幕されたEU首脳会談にてメイ英首相が離脱通告の方針を説明、オランド大統領は「交渉は難しいものとなる」と警告し英国経済先行き懸念が強まったことや9月英公的部門純借入額が106億ポンド(予想85億ポンド)、前回105億ポンドから108億ポンドへ上方修正)と悪化していたことなどを材料に1.2204まで売られ、同レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン時間17:59)
ニューヨーク	ドル円は103.72レベルでNYオープン。朝方は米大手コングロマリットの決算が予想を下回ったことでダウが大幅安で寄り付いたことや、軟調な原油相場にドル円は上値を抑えられ、一時103.52まで下落。しかし103.50付近では下げ渋ると、米大手通信による買収報道や米大手ITの好決算を受けてダウ平均が下げ幅を縮小させる動きに、ドル円は104.01まで値を戻した。その後は、ホルタルの格付けが据え置かれたことや、ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁の「インフレは当局目標の2%インフレにとても近い」との発言が伝わるが、市場への影響は限定的。終盤は103.90を挟みでの推移が続き、結局103.85レベルでクローズした。一方ユーロドルは前日のドラギECB総裁の発言を受けてテバリング観測が後退したこともあり、じり安の推移が続き、1.0889でNYオープン。ホルタル格付け発表を控え、引き続き下値を試す動きに一時1.0859まで下落。格付け据え置きとなり、この水準では下げ渋り、1.0885レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。